

(別紙4(2))

事業所名 アクティブライフ神戸

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 4 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	56	全ての利用者、家族の思いや暮らし方の願いの意向を掴みきれていない。	変化する利用者の日々の表情や言葉の表現に隠された思いや願いに添った暮らし方をアセスメントする。	介護計画の作成は本人、家族と協議を行いながら要望に反映するものとする。 6ヶ月
2	35	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけると共に、地域との協力体制の構築が未熟である。	施設のセキュリティ機能を全職員が熟知する。	施設独自のセキュリティー機能を活かした防災訓練を実施する 6ヶ月
3	31	介護職は日常の関わりの中でとらえた情報やきづきを職場内の看護師に伝えて相談し個々の利用者が適切な受診や看護をより安心して受けられるようにする。	看護職との協働体制作り・	看護師の配置により主治医と家族、介護職員の連携協力を行い、特別な医療処置が必要な場合は個別に支援を受けることも可能である。 12ヶ月
4	48	一人ひとりの張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、生活暦や力を活かした楽しみや気分転換の支援を強化する必要がある。	その方の持てる力を発揮できる環境をつくる。	利用者家族に内容の説明を行い、同意を得た後地域のサービス専門機関との協同で施設介護職員では行えない個別支援では、臨床美術の提供を行う。 12ヶ月
5	38	介護職員の都合や決まりで一人ひとりのペースやその日をどのように過ごして頂くか、希望に添えない場合がある。	介護職員の人数体制をお一人おひとりの希望に添えるよう、状況に即して対応が出来るようにする。	各階との垣根を越えた共有すべきサービスや支援の内容を定期的なミーティングの開催で検討する。 6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。